多摩美術大学創立80周年・校友会設立20周年 記念特集号

No.
21
2015

多摩美術大学校友会
会報［アルティ］

alT

2015 年度校友会理事　　第 7 期 3 年目
2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日

名誉会長：建畠哲
顧　　問：東海林隆
　　鶴見雅夫

会　　長：	寺内隆（3）	1972	ID
副 会 長：	上田雄三（6）	1976	GD
	齋藤敦子（6）	1991	ID
事務局長：	柏木弘（9）※	1981	染織
理　　事：	津田祥夫（6）	1964	図平
	庄山晃（2）※	1969	演劇
	児嶋眞作（3）	1970	GD
	植村博（3）	1971	彫刻
	山本博子（2）※	1974	GD
	天野純治（6）	1975	油画
	岡田真智子（3）	1975	GD
	野田裕示（9）※	1976	油画
	森博美（9）	1976	D
	村岡淳一（3）	1979	建築
	森長俊六（3）	1979	彫刻
	青木榮二（5）	1980	GD
	今泉善雄（3）	1981	日画
	川越三郎（3）	1982	彫刻
	小林光男（4）※	1982	ID
	税田和利（1）	1982	PD
	相馬千賀（3）	1982	染織
	水上嘉久（6）※	1983	彫刻
	小野範子（5）	1984	油画
	武田州左（4）※	1985	日画
	米山貴久（1）※	1988	PD
	矢野英樹（6）※	1994	二 D
	米山建壱（1）※	1998	芸術

※印は学内教職員、（　）内は就任年数

多摩美術大学校友会
会員数：38,706人
（物故、学内からの大学院進学者を除く）

ご挨拶

会長　寺内　隆（'72 ID）

校友会は会員相互の親睦、芸術文化の発展、多摩美術大学の発展を目的としております。

今年度は多摩美術大学80周年、校友会20周年記念の年です。大学主催の「創立80周年の記念式典」、「ホームカミングデイ2015in八王子キャンパス」が行われました。多くの卒業生、及び大学関係者が集まり盛大に行われました。校友会では「アート＆デザインは社会を豊かにする」をメインテーマとして「結ぶ」をキーワードに国内外を含む15支部に於いて様々なイベントを企画し実施しております。

この「結ぶ」の企画は多摩美術大学の卒業生の結びつきはもとより、美術と産業界、行政、教育機関との新しい関係を築き、今までに無いネットワークを作る事がねらいです。

今年度、私達は次の二つを目標にしております。一つ目は若い人が集まる魅力的な校友会を作ることです。多くの若い人の参加は校友会に活力を生み出します。世代をこえた人達、価値観の違う人達、多様なジャンルの人達の結びつきは新しい可能性を引き出します。

二つ目は積極的に社会貢献を行う。近年、社会は多様化しています。多くの価値観があり、次への方向が見え難くなっています。美術の特性は創造性、オリジナリティ、高い美意識です。

アーティストは豊かな表現力を持ちます。それらを活かすことは、社会が健全で豊かな方向へ向かう事に役立ちます。今後、多摩美術大学の卒業生、関係者皆様のご協力、ご指導を宜しくお願いいたします。

［新任理事］

税田 和利（'82 PD）

米山 貴久（'88 PD）

米山 建壱（'98 芸術）

［退任理事］

任期中はお忙しいにもかかわらず、校友会活動にご協力いただきまして誠にありがとうございました。これからも一校友会員としてご支援いただければ幸いです。

杉浦 充（'94 建築）

表紙：蜷川実花／すみだ水族館　クラゲ万華鏡トンネル（2015）

蜷川実花プロフィール：
東京都生まれ、1997年多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科卒業後、写真家、映画監督として国際的に活躍。沢尻エリカ主演の映画『ヘルタースケルター』にて新藤兼人賞「銀賞(2012)、「第13回 VOCA 展 2006- 大原美術館賞」(2006)、「第26回木村伊兵衛写真賞」(2001)など数多く受賞。「蜷川実花：Self-image」原美術館(2015)、ほか国内外で個展も多く開催。
http://www.ninamika.com

特別インタビュー　大学創立80周年・校友会設立20周年を語る

藤谷宣人理事長 × 建畠哲学長 × 鶴見雅夫校友会顧問

進行：上田雄三［校友会副会長］

2015年10月15日（木）上野毛校舎 理事長室にて　14:00-15:00
［席順：左から建畠哲学長、藤谷宣人理事長、鶴見雅夫校友会顧問（名誉教授 /'66 院油）、進行：上田雄三校友会副会長（'76 GD）］

本年2015年は、多摩美術大学創立80周年・校友会設立20周年の記念すべき年にあたります。10月10日（土）に創立80周年記念事業として「創立80周年記念式典」、「ホームカミングデイ2015」が八王子キャンパスにて開催されました。
当日は、卒業生を対象とした「記念セレモニー＆パーティー」のほか「国際シンポジウム」、「記念展」、「国際交流イベント」などの数々のイベントが行われました。
今回は、藤谷宣人理事長、建畠哲学長そして校友会顧問の鶴見雅夫先生のお三方に、当日の様子や今後の多摩美術大学と校友会のビジョンなどについてお話をうかがいました。

記念事業を終えて

――当日は、創立80周年記念事業として数々のイベントが開催されましたが、まずはご感想をお聞かせください。

藤谷：一言で言えば感無量です。嬉しかったですね。多摩美に関わって40年になりますが、非常によい記念事業になったと思います。

建畠：僕はこの4月に着任したばかりの大きなイベントで、初仕事みたいなものでした。10年間多摩美を離れていましたが、僕が辞める頃からすでにキャンパスの新しい増設は始まっていましたが、戻って来るとまったくの別天地でした。昔は建物のほとんどがプレハブで、それはそれで活気はありましたが、今は八王子キャンパスは整備され、美術系大学のキャンパスとしては世界の中でも最も充実している美しいキャンパスになっていました。藤谷理事長のご尽力が大きいと思います。今年、旧図書館跡にアートテーク（※1）が完成し、実質的にはあれがキャンパス整備計画の最後の大きな取り組みですね。プレハブの頃も多摩美は凄く元気ではありましたが、これだけキャンパスが充実したらもっともっと元気にやっていかないと。建物が立派になったからといって優秀な卒業生が出るわけではないので、さらに教育内容と連動させていかなければならない。そのような教育環境を整備していくこともこれから取り組み、当時に負けない優秀な卒業生を輩出していきたいと思っています。

（※1）ギャラリー、80周年メモリアルルーム、自由デッサン室（石膏室）、大学院博士課程アトリエ、個人コレクション、アーカイヴ、竹尾ギャラリー、収蔵庫、事務室等から構成された知と創造の多面的複合施設。
写真提供：石黒写真研究室

（※2）●1F ギャラリー：1970年以降のアートシーンから多摩美にゆかりのあるアーティスト・美術評論家らを撮影した写真展『安齊重男の写真による―多摩美をめぐる人々展』
●2F ギャラリー：「もの派」のドキュメント写真展『もの派―70年代 by Anzaï』

鶴見：藤谷理事長の感無量と言うその言葉に私も尽きるのですが、思い出せば私は多摩美が4年制大学になって（1953年）の4期生なので、上野毛キャンパスの木造校舎で学びました。当時、学生たちは設備に不満を持ちながらも、設備の整わない校舎で勉学に励んでいました。多摩美の建学の精神でもある「自由」な雰囲気の中、アートを愛する学生が日本全国から集まって来て、私学では結構倍率が高かったと記憶しています。学生はみんな貧しかったけど、同じ志をもつ情熱的な仲間がいて、さらに先輩後輩の距離も近かった。廊下を歩けばギシギシ音がするような校舎でしたけど、それもそれなりに楽しかった。そういう雰囲気が当時の多摩美にはありました。今年こうして八王子キャンパスが整い、改めてその充実ぶりを目の当たりにすると、当時の多摩美もよかったけれど、本当に今の多摩美には感無量という言葉に尽きます。そこで私は今度は中身だということを切実に感じます。中身を今後どう充実させて、学生が勉強を重ねながら創作していくかを大いに期待したい。卒業生の我々も充実したキャンパスを見て母校が立派になったことに誇りを持ち、校友会としても飛躍するような状況を作れたらいいですね。これからも校友会全体でがんばるようなエネルギーが生まれれば最高の組織になると思います。

アートテークがオープン

――アートテークのこの建設計画はどのように進められたのですか。

藤谷：アートテークは、当初旧図書館を使って研究ゾーンを作る構想を持っていましたが、旧図書館を研究ゾーンに変えるだけでも相当投資しなくてはいけないということがわかり、むしろ壊して新しく建てた方がいいのではないかということになったのです。またそのとき共通教育センター棟（旧本館）に色々な問題が浮上し、一時期工事を中断せざるをえなくなりました。その後共通教育センター棟（旧本館）の補修工事が無事終了し、その時に研究を目的とだけでなく、多摩美が持っているそれこそ文化多様性のものを研究、発掘、保存、発信する場へとなるように計画し、現在のような形になりました。

――そのアートテークでは、創立80周年記念展として、1F と 2F のギャラリーでアートドキュメンタリストとして活動する安齊重男さん（多摩美術大学客員教授）による2つの写真展（※2）が開催されました。当時を知る卒業生として多摩美のエネルギーを改めて感じました。

世界の中の多摩美を目指す

――今回「記念式典」や「レセプション」に海外から多くの方々がいらっしゃっていましたが、これからの多摩美術大学が国際的に目指すべきところをお話ししていただけたらと思います。

藤谷：本学は現在、ヨーロッパの大学7校、アメリカの大学2校、アジアの大学10校の、計19校と協定を結んでいます。今回すべての大学の皆さんにお越しいただきました。これからの大学はまさに国境のない時代に入っていくだろうと思います。グローバルとローカルを兼ね合わせたようなグローカルな大学を目指して、これまでの歴史と伝統を活かしながら、国際的にも世界の中の多摩美としていきたい。今後更に協定校も増やしていく予定です。

建畠：グローバリズムと大学が言うと、すぐに「英語で何％単位が取れますか」とか「英語だけの単位で卒業できますか」とか言われますが、一つの言語だけを普遍化していくというのはグローバリズムではありません。グローバリズムというのは、言語・人種・宗教などの多様性を認めるということで、その多様性の典型がアートなんです。個人個人が多様だし国ごとに文化も違う、そうした多様性を受け止めてくれる、あるいはますます膨らませてくれる大学でありたい。そういう意味では今回19の協定校、ヨーロッパ、アメリカ、アジアからお越しいただいて、まさしく本当に多様性を認めるグローバリズムを反映していると思います。レセプションでもシンポジウムでも色んな形で交流が起きて、そういう意味では多摩美らしい本来の多様性を共用する、グローバリズムのシンボリックなイベントになったと思います。さっき鶴見先生がおっしゃったように、魂を入れるのはこれからです。最近は色んな大学で英語一辺倒になっている、もちろん英語は大事ですけど、英語で全ての文化をというのは問題です。多摩美は正しいグローバリズムを目指していきたいと思います。

鶴見：今回、各国の大学の方々は、記念式典やレセプションのほか、各学科に分かれる懇親会をおやりになったとお聞きしました。そういう風に現場の先生や学生たちが直接交流できる場は素晴らしいと思います。全学科を通してそのようなことができれば、他校にない多摩美の自由な考えを広げていけると思います。国際交流研究センターと言えばいいのかな、ホテルも兼ね備えて、海外から先生も手厚く迎えられるような国際的な交流の場となるレジデンスがあればさらにいいですね。

――今年、校友会は20周年を迎えました。これからの10年後、20年後の未来における校友会は、どのようにあってほしいでしょうか。

鶴見：校友会は難産に難産を重ねてできたのですが、こうして20年も経ち、組織としてもしっかりとしてきたので、これからも卒業生を軸にして発展していってほしい。今回こうして海外から協定校の方々がいらっしゃって大変素晴らしいことだと思いますが、さらなる今後の飛躍のために、積極的に交換留学生のような形で国際交流が発展していってほしい。校友会も世界中にネットワークを広げるために各国に支部を作りたいですね。

――最後に卒業生へ向けて一言ずつお願いいたします。

藤谷：理事長を務めることになった時、是非多摩美に校友会を作りたいと思いました。卒業生あっての大学という思いを強く持っていました。八王子キャンパスの整備、教育組織の整備、財政の整備等、大学もいくつもの構想を実現していかなければならない時でしたが、校友会組織を作るために北海道から鹿児島まで多くの卒業生に会いに行きました。今は鶴見先生や歴代会長の方々の努力が広がっていき、25の支部ができあがってこうして校友会は発展しました。今後も日本のみならず世界中に支部を広げ、さらなる発展を願っています。

建畠：多摩美の教授時代に1年間海外研修でニューヨークのコロンビア大学の客員研究員をしていました。そのときに目にしたのは、校友会が大学の中心に立って、人、奨学金、就職とか、色んな支援をして、それがその名門校の基盤になっている。卒業生も4万人がいて、その人たちがみんな社会で活躍しているから、多摩美とシンクロしていい関係ができたら物凄い資産だと思う。利用するだけではなく、校友会の人たちにとっても多摩美が育っていくわけですから。僕は最初はね、校友会って卒業生がたまに同期と集まって、お茶を飲んでいるだけかと思ったら、アメリカは違うのですね。もっと強力な組織なんですね。中核に立っている、そんな風に育っていけばいいなと思います。

鶴見：まだ校友会は大学の力に凄く助けられていると思います。藤谷理事長がおっしゃるように大学と校友会は一体だから、互いに支え合っていければいいですよね。多摩美の卒業生は色んな分野で活躍していますから、校友会からもっといろんな形で大学に対して支援策を考えアプローチしていきたい。そういうことができれば大学と校友会がよりよい関係になり、お互いの発展に繋がっていくと思います。

――これからも校友会をよろしくお願いいたします。本日はお忙しいところありがとうございました。

海外協定校一覧（2015年8月現在）
アアルト大学芸術デザイン建築学部（フィンランド）／ベルリン芸術大学（ドイツ）／ヘリット・リートフェルト・アカデミー（オランダ）／ロイヤル・カレッジ・オブ・アート、グラスゴー美術学校（イギリス）／オスロ国立芸術大学（ノルウェー）／ヨーテボリ大学ファインアート・応用美術・舞台芸術学部（スウェーデン）／アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン、シンシナティ大学（アメリカ）／清華大学美術学院、中央美術学院（中国）／国立台北芸術大学、国立台湾芸術大学（台湾）／弘益大学校、東亜大学校、ソウル大学校美術大学、梨花女子大学校造形芸術大学（韓国）／シラパコーン大学（タイ）／ナショナル・インスティテュート・オブ・デザイン（インド）

多摩美術大学創立80周年記念
ホームカミングデイ2015 in 八王子

安齊重男氏の写真による―多摩美をめぐる人々展
多摩美術大学八王子キャンパス アートテーク1F ギャラリー

芸術祭を3週間後に控え、
秋の気配漂う八王子キャンパス
には海外からのお客様を含む式典へ
の招待者約300名と卒業生とその家族
等約400名以上が学生、教職員と
ふれあい、にぎやかな一日
となりました。

第2部記念パーティー
建畠哲学長挨拶
理事長、学長、校友会会長、
校友会副会長による鏡開き
寺内隆校友会会長乾杯の挨拶
タンドリンマによる演奏
中野嘉之実行委員長に
よる挨拶、記念撮影

TAU ホールで行われた
卒業生対象のイベント：
第1部　記念セレモニー
和太鼓研究会演奏
開会宣言
藤谷宣人理事長挨拶
ル・クラブ・バシュラフに
よる演奏

10月10日（土）に
様々なイベントが八王子キャンパス
で行われました。
WELCOME BACK!
おかえりなさい
卒業生のみなさま!

大学80周年・校友会20周年記念イベント
「結ぶ」企画

本年は大学80周年・校友会20周年の記念事業として、各支部が「アート＆デザインは社会を豊かにする」をテーマに、地域社会とのつながりや結びつきをもてる企画を立て、実施しています。全15支部がいつもの支部活動とは少し趣きの異なる企画を各地でおこなっています。これから開催する企画もありますので、会場近くにお立ち寄りの際は是非お越しください。

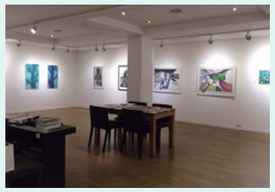
「結ぶ」企画一覧（開催日順）

群馬支部
群馬県出身の在校生とバスツアー参加受験生の交流会
2015年7月19日(日)
多摩美術大学八王子キャンパス

多摩教育の会
◉図画工作・美術教育の実技等研修講座
2015年8月5日(水)（講演・シンポジウム）・6日(木)（実技研修）
多摩美術大学八王子キャンパス
◉教員採用二次試験対策講座
2015年8月14日(金)・19日(水)
CCAA アートプラザ

愛媛支部
淺山仁回顧展 そして緑の作家達と松山美術研究所展
2015年8月12日(水)～16日(日)
愛媛県美術館 本館

韓国支部
THE CROSSRUFF TAMA EXHIBITION
2015年8月12日(水)～18日(火)
ガイアギャラリー



愛知支部
講演会「身体をめぐる映像制作」～愛知芸術文化センターの取り組み～
2015年8月22日(土)
ギャラリータマミジアム

福岡・佐賀・大分支部
第49回 出前アート大学＋第10回 九州地区多摩美術大学校友会展
2015年9月4日(金)、9月8日(火)～13日(日)
福岡市立横手小学校・福岡市美術館

ニューヨーク支部
アートカードで結ぶ
2015年9月16日(水)～9月29日(火)
Tenri Cultural Institute Gallery

静岡支部
静岡交流ひろば
2015年10月10日(土)（ホームカミングデイ2015）
多摩美術大学八王子キャンパス

神奈川支部
手織りワークショップ『ランチョンマットをつくろう！』
2015年10月18日(日)
FEI ART MUSEUM YOKOHAMA

東北支部
東北支部チャリティー展
2015年10月20日(火)～25日(日)
晩翠画廊

北海道支部
大学創立80周年 校友会設立20周年 記念イベント・札幌
2015年10月21日(水)～25日(日)
札幌駅地下歩行空間

関西支部
たまびのかたち
2015年11月3日(火)～8日(日)
兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー

……【今後の予定】……

長野支部
千曲アートコンペ・デザインコンペ
2015年11月22(日)～12月6(日)
アートまちかど

台湾支部
- 2015TMT 彫刻展 “__”＆“__” -
2016年12月19日(土)
子隆山房・鎌倉塾

新潟支部
新潟支部会誌「新潟 TAMABI」制作
2016年1月末日配布予定

支部支援について

校友会には国内・海外あわせて25の支部があります。支部の規模や参加者の人数はまちまちですが、それぞれのルールに従った独自の活動を通して会員どうしの親睦を深めながら、芸術文化の発展に寄与しています。現在、各支部より助成金の申請書および予算内訳書を提出していただき、助成額を決定、年度末に決算報告書を提出していただいております。

支部長懇談会の開催

今年度は6月6日（土）に、第22回支部長懇談会が開催され、19支部の代表者が上野毛キャンパスに集まりました。校友会20周年・大学80周年記念イベント「結ぶ」企画のプレゼン発表では、それぞれのバラエティに富んだ企画内容を支部間で共有でき、刺激的な懇談会となりました。

2015年6月6日　第22回支部長懇談会

支部活動記録

千葉支部
第18回 千葉多摩美会展
2015年6月16日（火）～21日（日）
千葉県立美術館

愛知支部
総会
2015年7月18日(土)
ギャラリータマミジアム

愛知支部
第10回 多摩美愛知の会展
2015年7月18日(土)～26日(日)
ギャラリータマミジアム

群馬支部
ぐんたまオープンキャンパスバスツアー
2015年7月19日(日)
群馬県～多摩美術大学 八王子キャンパス

広島支部
広島支部定期総会懇親会
2015年7月31日(金)
桂林

福岡支部
第21回 福岡支部総会
2015年7月20日(月)
雑魚屋 天神店

多摩教育の会
多摩教育の会定期総会
2015年8月5日(水)
多摩美術大学 八王子キャンパス

新潟支部
第8回新潟多摩美展
2015年8月10日(月)～8月18日(火)
新潟市美術館 市民ギャラリー

神奈川支部
BIRTHPLACE ART 2015 -Tama Art University in Kanagawa-
2015年10月11日(日)～10月18日(日)
FEI ART MUSEUM YOKOHAMA

チャリティ展覧会

多摩美術大学校友会小品展

校友会では、販売を目的としたチャリティ展覧会「小品展」を毎年12月に実施しており、収益の一部を「奨学金基金」と「アートの分野における東日本大震災義援金」への寄付に充てています。第18回を迎える今年の小品展には、173名の卒業生が出品する予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

【告知】
第18回チャリティ展覧会「多摩美術大学校友会小品展2015」
会期：2015年11月29日（日）～ 12月5日（土）
会場：文房堂ギャラリー（神田神保町）
※詳しくは同封のDMをご覧ください。

【チャレンジ賞】
若手クリエイターの発表活動を支援する「チャレンジ賞」は「小品展」来場者の投票結果をもとに選考されます。今年は24名の応募がありました。皆様奮ってご投票ください。

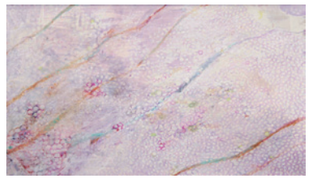
「チャレンジ賞」概要
応募資格
●「小品展」出品者
●「小品展」開催年時、満40歳以下
●指定期間に展覧会を企画している正会員
賞の内容
●個展開催時のDM印刷代・郵送経費として5万円を授与
●校友会ホームページでの開催告知
● DMを個展開催地付近在住の卒業生へ事務局から送付

「小品展2014」のご報告

出品者：181名　来場者：約440名　作品点数：317点
販売作品点数：156点　期間中売上：75万5,520円
上記売り上げのうち、50%を作家への画料、25%を奨学金基金、25%を「東日本大震災芸術･文化による復興支援ファンド（GBファンド）」（公益社団法人企業メセナ協議会）への支援金としました。
チャレンジ賞受賞者：5名（応募者8名）
小林大悟（'14日本画）、寺島さと子（'06院日本画）、長谷川彩織（'14油画）、山根弘典（'06造形）、渡部未乃（'14油画）

【小品展2014】
チャレンジ賞受賞者作品

小林大悟（'14日本画）



寺島さと子（'06院日本画）

長谷川彩織（'14油画）

山根弘典（'06造形）

渡部未乃（'14油画）

校友会奨学金制度

校友会には「校友会奨学金」と、「校友会私費留学生奨学金」の二つの奨学金制度があります。校友会奨学生は例年6月に公募いたしますので、在学生の皆さまは是非ご応募ください。

	対象	形式
校友会奨学金	全学年	公募
校友会私費留学生奨学金	3年・4年・大学院生	研究室推薦（輪番制）

【平成27年度 校友会奨学金応募数】
計35名（美術学部15名＋造形表現学部7名＋大学院13名）

【平成27年度校友会奨学生選考委員会】
米谷清和（日本画）　菊地武彦（油画）　古谷博子（版画）
水上嘉久（彫刻）　小林光男（工芸）　田中康夫（造形）
山本博子（GD）　濱田芳治（PD）　柏木弘（TD）
岸本章（環境）

【平成27年度校友会奨学生成果報告会】
昨年度から、奨学生によるプレゼンテーション形式の成果報告会を開催しています。
今年度報告会は2016年3月に八王子キャンパスにて開催予定です。
日程･会場等の詳細が決定し次第ホームページでお知らせいたします。

【平成27年度校友会奨学生】
森田 緩乃　日本画 2年
井上 瑞貴　油画 3年
戸張 花　油画 4年
加賀 遼也　GD 4年
伊藤 瑞穂　PD 4年
西 毅徳　環境 4年
馬場 美桜子　大学院 油画 2年
笹目 舞　大学院 油画 夜間主 1年
竹中 優香　大学院 彫刻 2年
呉 守珍　大学院 PD 1年

【平成27年度校友会私費留学奨学生】
CHEN Chueh Wen（台湾）彫刻 4年
CHEN Tu Kuan（台湾）情報 4年
LEE Ha Rang（韓国）TD 4年
OH Su Jin（韓国）大学院 PD 1年
GAO Wenlei（中国）大学院 GD 2年

企画助成

「おとなの奨学金」

卒業後も意欲的に芸術活動に励んでいる校友会員を支援するプログラムです。毎年春に募集しますので、是非ご応募ください。

助成の対象：広く社会において「芸術文化の振興・発展」に寄与する校友会員が5名以上所属する非営利団体（代表者は正会員）が企画する、展覧会・セミナー・講演会・ワークショップ・発表会・出版・映像・舞台等の会員の創作による発表活動

平成27年度「おとなの奨学金」は、選考の結果、下記5グループの企画が助成対象となりました。

絵本とわたしと日本画
代表者：嶌田玲子（'14日本画）
「絵本とわたしと日本画展」
2014年日本画専攻卒業の6名による展覧会
会期：2015年11月16日（月）～ 21日（土）
場所：アートスペース羅針盤（中央区）
助成額：30,000円

Super Open Studio NETWORK
代表者：井出賢嗣（'06院油画）
「042 art area project 2015 SUPER OPEN STUDIO」
相模原市近郊のアトリエ23軒を一斉公開するアートイベント
会期:2015年10月10日（土）～ 11月1日（日）
場所：アートラボはしもと（相模原市）他
助成額：125,000円

ソ- ワ- カ Ceremony for Hiroshima 実行委員会
代表者：平林幸壽（'02油画）
「70th anniversary ceremony for Hiroshima after Atomic bombing by s-va-ha」
現代･美術･仏教ユニット「ソ - ワ - カ」（3名）のイベント出演とその映像作品制作
実施日：2015年8月5日（水）
場所：広島平和祈念公園（広島市）
助成額：47,295円

多摩美神奈川同窓会 ALTE
代表者：小原輝子（'63油画）
「festa2015 ALTE YOKOHAMA 多摩美展」
油画・水彩画・彫刻・日本画・染色・織物など、幅広いジャンルの展覧会
会期：2015年11月16日（月）～ 22日（日）
場所：ガレリア・セルテ（横浜市）
助成額：89,550円

ちゃかほい会（多摩美大寮友会）
代表者：田中忠一（'54油画）
「第6回ちゃかほい展」
芸術梁山泊から育った有志によるジャンルを超えた展覧会
会期:2015年10月29日（木)～ 11月5日（木）
場所：ギャラリー大和田（渋谷区）
助成額：70,000円

room312
代表者：西川量美（'11造形）
「room312 REUNION [やっぱり美術と離れたくない] 」
在学時に上野毛2号館312号室を使用していたルームメイト5人による展覧会
会期：2016年2月1日（月）～ 7日（日）
場所：月光荘 画室2（中央区）
助成額：25,000円

出前アート大学

出前アート大学では、卒業後社会で活躍する卒業生のクリエイターと共に、日本全国の小学校へ美術・デザインの授業を出前しています。これからも多摩美校友会の特性を活かし、社会に貢献したいと考えています。2015年に開催した授業No.048、No.049をご報告致します。

授業 No.048

「だれになる？なにになる？」
2015年 1月 30日（金）宮城県白石市立大平小学校

講師にアーティストの三宅信太郎さん（'96 版画）を迎え準備してきましたが、残念ながら当日は体調不良のため講師不在での開催となりました。今回の授業では、事前に決めたテーマの世界に住む「だれか」や「なにか」になりきる着ぐるみを制作し「自分以外のだれかになりきってみる体験」を子どもたちに届けました。

授業 No.049

「キラキラ・ピカピカ・ふわふわ～横手小学校アート回廊～」
2015年9月 4日（金）福岡県福岡市立横手小学校
講師：塩川岳　（現代美術家／ '93院油）

ワークショップや体験型の作品を数多く手がける塩川岳さん。「ダイナミックな協同制作を体育館で行いたい！」という小学校からの要望と合わせ、授業を作り上げました。「キラキラ・ピカピカ・ふわふわ」をキーワードに、反射素材・蛍光素材・ビニール素材などで大きな作品を6つ制作。素材の特性を五感で体験しながら制作・鑑賞する授業となりました。今回は福岡支部と連携し「第10回 九州地区多摩美術大学校友会展」で子どもたちの作品の一部と制作風景が展示されました。

講師：塩川岳

校友会ホームカミングデー 2015

日程：2015年6月7日（日）
会場：多摩美術大学 上野毛キャンパス
「定期総会」「ガーデン同窓会」の二部構成からなる「ホームカミングデー」を、今年は上野毛キャンパスにて開催いたしました。「定期総会」に60名、「ガーデン同窓会」には約120名の卒業生が集まりました。

第一部　第21回多摩美術大学校友会定期総会

「定期総会」では、昨年度の校友会事業を報告し、今年度の事業計画等について正会員のみなさまに承認をいただくことができました。詳しくは本誌14ページに当日の議事録が掲載されておりますのでご覧ください。

第二部　ガーデン同窓会

「ガーデン同窓会」は、上野毛キャンパス3号館の映像スタジオをお借りして開催いたしました。理事長、学長を交えて幅広い年代の卒業生が集まり、軽食を囲んで語らう楽しいひとときでした。また、昨年度で退職された堀浩哉先生（油画）、佐藤晃一先生（GD）、寺内隆先生（PD）がお忙しい中ご出席くださり、思い出話に花が咲く和やかな交流の場となりました。みなさま来年もぜひお誘い合わせの上、お気軽にお越しください。

第21回多摩美術大学校友会 定期総会議事録

日時: 2015年6月7日(日) 14:00〜15:00
場所: 多摩美術大学上野毛キャンパス図書館3階大会議室

【開会の挨拶】 司会・進行: 柏木弘('81染織)
【議長の選出】 議長:上田雄三('76GD)
【書記の選出】 書記:植村博('71彫刻)
【監査の選出】 児島眞作('70GD) 森博美('76D)
●議長より総会成立条件の報告
(議決権所有者17,581名中、出席者56名、委任状439名、合計495名)

【議案第1号 平成26〜27年度 事業・会計報告】

●柏木弘事務局長より説明

(万円)

会計	終身会費の「安定収入」が続いています	26年度予算	26年度決算	27年度予算
収入		3,620	3,591	3,623

新入生(=準会員)に終身会費を納めていただく「入学時一括予納」制により安定収入が維持されており、同制度による終身会費収入の今年度決算額は3,432万円となりました。また前年度の「小品展収入」(作品の売上金)を鑑み、今年度の小品展収入予算は100万円に減額しました。

会計	収支バランスに配慮した予算配分としました	26年度予算	26年度決算	27年度予算
経費支出		3,510	3,538	3,872

卒業生数の伸びとともに校友会の活動領域もひろがっています。会費収入と釣合いのとれた支出計画にすることで、会の持続的・継続的発展をめざします。今年度は校友会設立 20 周年ですので企画事業費に周年事業費を加えました。

会員サービス	「校友会ホームカミングデー」(定期総会・ガーデン同窓会)の開催	26年度予算	26年度決算	27年度予算
総会		364	416	320

年に一度、卒業生が母校に集う「ホームカミングデー」(定期総会・ガーデン同窓会)を開催しています。今年は本日 6 月 7 日(日)、上野毛キャンパスでの開催です。

会員サービス	会報「alT」の発行	26年度予算	26年度決算	27年度予算
広報		397	384	380

卒業生をつなぐ情報誌として読みやすさ・親しみやすさを追求し紙面を充実させています。同窓会や小品展情報、助成制度のご案内などお役にたつ情報を満載してお届けします。

会員サービス	チャリティ展覧会「小品展」の開催	26年度予算	26年度決算	27年度予算
企画		192	150	160

昨年度は181名の方が出品し、売上額は75万5,520円にのぼりました。このうち25%を「奨学金基金」に納付、25%を「(社)企業メセナ協議会」を通じて震災復興支援金として寄付しました。今年も神田神保町「文房堂ギャラリー」で開催します。

会員サービス	「おとなの奨学金」	26年度予算	26年度決算	27年度予算
企画		70	27	50

意欲的に芸術活動に取り組んでいる卒業生を応援するプログラムです。昨年度は5グループの卒業生の方々にプログラムをご利用いただきました。展覧会、セミナー、出版、映像、舞台など、さまざまな創作発表シーンにご活用いただけます。

会員サービス	あなたの近くの校友会 校友会支部からのご案内	26年度予算	26年度決算	27年度予算
企画		105	122	120

校友会には国内・海外あわせて25の支部があります(2015年現在)。活動にはそれぞれ独自性がありますが「人のつながり・地域のつながり」を大切にしながら卒業生交流の輪が全国各地、台北、ソウル、ニューヨークにひろがっています。

大学	大学創立 80 周年・校友会 20 周年記念事業「結ぶ」企画	26年度予算	26年度決算	27年度予算
周年事業		—	—	250

今年は多摩美術大学創立80周年・校友会設立20周年の記念すべき年です。校友会では全国、世界に広がる校友のネットワークを活用し、母校の80周年をお祝いする企画を立てました。「アート&デザインは社会を豊かにする」をテーマに、各支部の会員の皆さまが地域社会とのつながりや結びつきをもてる企画を立て実施します。通常の支部助成制度とは別に予算を計上しました。

準会員 / 大学	学生(準会員)に向けた支援	26年度予算	26年度決算	27年度予算
企画		472	507	513

在学生(=準会員)に向けての支援も行っています。1997(平成9)年に「校友会奨学金基金」が創設されて以来、多くの学生に奨学金を贈ってきました。昨年度も例年通り、オリジナルスケッチブックを新入生と卒業生にお祝いとしてお渡ししました。パンフレットへの広告掲載を通して芸術祭への支援もおこなっています。

社会へ寄与	社会に向けて「出前アート大学」など	26年度予算	26年度決算	27年度予算
企画		330	146	200

日本全国の小学校へ、卒業後社会の第一線で活躍するクリエイターと共に美術・デザインの授業を出前しています。昨年度は宮城県の白石市立大平小学校へ出前授業をお届けしました。本年度の出前授業No.49は福岡支部との連携事業を予定しています。また、授業No.50も計画しています。

一般会計	あなたが納めた「終身会費」は このように使われています	26年度予算	26年度決算	27年度予算
企画事業費		1,931	1,754	1,993

卒業生の会である校友会は会員の皆さまからの「終身会費」によって支えられています。納めていただいた「3万円」は校友会活動に直接的に寄与する「企画事業費」と間接経費である「一般管理費」に大別されます。このうち「企画事業費」の使途は、①会員の親睦・交流 ②準会員支援 ③大学の発展に寄与 ④社会の芸術文化へ寄与 の4つのジャンルの活動費に充てられ、それぞれの支出配分をおよそ【①:②:③:④=3:1:1:1】とすることを目安に事業計画を定めています。

◎拍手多数により承認

【議案第2号 平成26年度決算・27年度予算】

●柏木弘事務局長より説明
●監査報告を監査担当の森博美理事より説明
◎拍手多数により承認

【議案第3号 会則・規則の改正について】

●柏木弘事務局長より説明
○事業細則-役員の選出 第14条の細則-理事-4-イに、新学科「統合デザイン・演劇舞踊デザイン」を追記
以上
◎拍手多数により承認

【議案第4号 大学80周年記念事業について】

●柏木弘事務局長より、大学80周年記念を祝い校友会から大学に3,000万円の寄付を行うことを報告
◎拍手多数により承認

【議案第5号 平成27年度 役員改選】

●柏木弘事務局長より説明
退任理事 杉浦充('94建築)
新任理事 税田和利('82 PD)、米山貴久('88 PD)、米山建志('98芸術)
退任役員 副会長:寺内隆('72 ID)
新任役員 会長:寺内隆
◎拍手多数により承認

【校友会からのお知らせ】

●柏木弘事務局長より説明
○住所変更/展示・イベント等の情報募集/正会員カード/名簿リスト・宛名シール提供/大学セミナーハウス利用(改築工事の為一定期間封鎖)等のお知らせ
○本年は校友会20周年・大学80周年の記念の年であり、大学主催のホームカミングデイが10月10日(土)に開催されることを予告

◎以上で議長が全議案の可決成立を報告し、第21回定期総会の終了を宣言した

〈平成26年度 事業内容の報告〉

●2014年(平成26年)

04月04日	入学式祝辞:上田雄三副会長(八王子キャンパス) ＊新入生へスケッチブック贈呈
05月17日	第114回理事会
05年21日	春の学内幹事会(八王子キャンパス)
06月07日	「校友会ホームカミングデー2014」(八王子キャンパス)第20回定期総会/スペシャルトークイベント/ガーデン同窓会 私費留学生奨学金授与式(5名) 第20回支部長懇談会(上野毛キャンパス)
07月02日	第115回理事会(第7期2年目スタート)
09月13日	第116回理事会 平成26年度校友会奨学金授与式(10名)
10月24日	秋の学内幹事会開催(八王子キャンパス)
11月01日	創立記念日
11月02日	芸術祭への助成(八王子・上野毛)
11月15日	第117回理事会
11月20日	会報「alT」No.20発行
11月30日	第17回チャリティ展覧会「多摩美術大学校友会小品展2014」開催 (11/30〜12/6 文房堂ギャラリー)

●2015年(平成27年)

01月24日	第118回理事会
01月30日	出前アート大学 授業No.048実施「だれになる?なにになる?」 講師:三宅信太郎('96版画)(宮城県・白石市立大平小学校)
02月28日	第21回支部長懇談会開催(上野毛キャンパス)
03月21日	平成26年度多摩美術大学校友会奨学生成果報告会(八王子キャンパス)
03月23日	美術学部・大学院学位授与式祝辞:齋藤敦子副会長(八王子キャンパス)
03月25日	造形表現学部学位授与式祝辞:上田雄三副会長(上野毛キャンパス) ＊新卒業生へスケッチブック贈呈
03月27日	第119回理事会

●その他の事業報告
データーベース管理
正会員カード発行
ホームページ更新
小品展チャレンジ賞受賞支援
支部助成
おとなの奨学金

平成26年度決算報告(平成26年4月1日〜平成27年3月31日)

●収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
〈当期収入合計〉	(41,558,311)	(41,446,950)	(111,361)
会費収入	34,500,000	34,750,000	△250,000
名簿収入	0	0	0
小品展収入	1,300,000	755,520	544,480
奨学金基金	0	0	0
寄付金	0	0	0
懇親会費	0	52,000	△52,000
大学助成金	0	0	0
雑収入	30,000	15,592	14,408
利子収入	200,000	345,527	△145,527
基本準備金取崩収入	0	0	0
奨学金積立金取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
前期仮払金収入	2,352,285	2,352,285	0
前期未収入金収入	176,026	176,026	0
〈調整勘定〉	0	0	0
期末未収入金	0	0	0
〈前年度繰越支払資金〉	(1,132,665)	(1,132,665)	(0)
収入合計	42,690,976	42,579,615	111,361

●支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
〈経費支出〉	(35,102,650)	(35,381,499)	(△278,849)
広報費	2,307,000	2,455,306	△148,306
卒業生名簿管理費	35,000	31,000	4,000
企画運営費	5,085,000	2,793,639	2,291,361
周年事業費	0	0	0
総会費	2,000,000	2,482,777	△482,777
助成活動費	3,770,000	3,822,844	△52,844
会議費	162,400	231,610	△69,210
理事活動費	300,000	351,112	△51,112
交通費	1,878,000	3,101,997	△1,223,997
会合費(渉外費)	250,000	227,678	22,322
備品・消耗品費	820,000	2,052,858	△1,232,858
通信費	5,559,250	4,734,034	825,216
振替手数料	186,000	225,476	△39,476
事務局員給与	9,650,000	9,679,297	△29,297
奨学金	3,000,000	3,000,000	0
寄付金	0	188,880	△188,880
雑費	50,000	2,991	47,009
予備費	(50,000)		50,000
〈各種引当金〉	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
基本準備金引当金	0	0	0
奨学金基金引当金	3,000,000	3,000,000	0
〈その他の支出〉	(3,044,689)	(3,044,689)	(0)
前期未払金	3,044,689	3,044,689	0
前期預り金支出	0	0	0
〈調整勘定〉	0	(△2,073,216)	(2,073,216)
期末未払金	0	△1,959,776	1,959,776
預り金	0	△113,440	113,440
〈次期繰越支払資金〉	(1,543,637)	(3,226,643)	(△1,683,006)
支出合計	42,690,976	42,579,615	111,361

平成27年度予算

●収入の部

	予算額
〈当期収入合計〉	(41,730,000)
会費収入	35,000,000
名簿収入	0
小品展収入	1,000,000
奨学金基金	0
寄付金	0
懇親会費	0
大学助成金	0
雑収入	30,000
利子収入	200,000
基本準備金取崩収入	2,500,000
奨学金積立金取崩収入	3,000,000
前期仮払金収入	0
前期未収入金収入	0
〈調整勘定〉	0
期末未収入金	0
〈前年度繰越支払資金〉	(3,226,643)
収入合計	44,956,643

●支出の部

	予算額
〈経費支出〉	(38,720,000)
広報費	2,300,000
卒業生名簿管理費	60,000
企画運営費	3,420,000
周年事業費	2,500,000
総会費	1,400,000
助成活動費	4,130,000
会議費	200,000
理事活動費	400,000
交通費	4,250,000
会合費(渉外費)	240,000
備品・消耗品費	900,000
通信費	4,880,000
振替手数料	240,000
事務局員給与	10,450,000
奨学金	3,000,000
寄付金	250,000
雑費	50,000
予備費	50,000
〈各種引当金〉	(3,000,000)
基本準備金引当金	0
奨学金基金引当金	3,000,000
〈その他の支出〉	(2,073,216)
前期未払金	1,959,776
前期預り金支出	113,440
〈調整勘定〉	0
期末未払金	0
預り金	0
〈次期繰越支払資金〉	(1,163,427)
支出合計	44,956,643

積立基金(平成7年11月3日〜平成27年3月31日)

(単位:円)

	基本準備金	奨学金基金	名簿出版準備金	特別事業費積立金	全基金積立額	累計
平成26年度	0	3,000,000	0	0	3,000,000	259,175,464
合計	248,000,000	11,175,464	0	0	259,175,464	259,175,464

〈平成27年度 事業計画案〉

●2015年(平成27年)

04月04日	入学式祝辞:入江明日香('04院版) ＊新入生へスケッチブック贈呈
05月20日	春の学内幹事会(八王子キャンパス)
05年23日	第120回理事会
06月06日	第22回支部長懇談会(上野毛キャンパス)
06月07日	「校友会ホームカミングデー2015」(上野毛キャンパス)第21回定期総会/ガーデン同窓会 私費留学生奨学金授与式(5名)
07月25日	第121回理事会(第7期3年目スタート)
09月	出前アート大学授業No.049実施 (福岡県・福岡市立横手小学校)
09月26日	第122回理事会 平成27年度校友会奨学金授与式(10名)
10月10日	「多摩美術大学創立80周年記念ホームカミングデイ2015 in 八王子」参加
11月01日	創立記念日
11月	芸術祭への助成(八王子・上野毛)
11月14日	第123回理事会
11月	会報「alT」No.21発行
11月29日	第18回チャリティ展覧会「多摩美術大学校友会小品展2015」(11/29〜12/5文房堂ギャラリー)

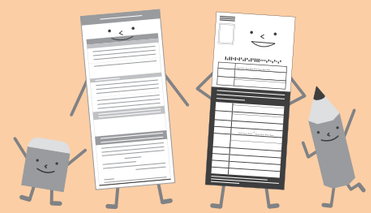
●2016年(平成28年)

01月23日	第124回理事会
02月27日	第23回支部長懇談会
03月	平成27年度多摩美術大学校友会奨学生成果報告会(八王子キャンパス)
03月	学位授与式祝辞 ＊新卒業生へスケッチブック贈呈
03月26日	第125回理事会

●その他の事業計画
データベース管理
正会員カード発行
ホームページ更新
小品展チャレンジ賞受賞者支援
支部助成
おとなの奨学金
周年事業

定期総会の「委任状」は必ずご返信ください!

春にお届けする「定期総会」の開催案内に同封されている「委任状」は、ご欠席の場合でも、必ずご返送ください。ご事情によりご出席できなくてもあなたの大切な一票となります。また、委任状は住所変更用はがきと統一化されています。ご住所にご変更のある方は、ご利用ください。なお、ホームページからも随時住所変更等ができます。こちらもご利用ください。



事務局からのお知らせ

正会員カード

「正会員」には正会員カードを発行しております。宿泊施設・観覧料・画廊での展示・材料等の割引や大学付属図書館の利用等、まだまだ十分ではありませんが、「正会員カード」をお持ちの方が受けられる数々の特典があります。今後は特典をさらに増やすべく理事会でも努力してまいります。

正会員カード特典先を募集中！

校友会では「正会員カード」の特典を広く募集しています。美術やデザイン関係に限らず、レストランやカフェ、その他ショップ等、ご自身はもちろん、ご家族、ご友人にもお声かけいただき、ご賛同くださる方をご紹介ください。よりいっそう魅力的な「正会員カード」となるよう皆様のご協力お願いいたします。

名簿リスト・宛名シール提供について

校友会では、同窓会やグループ展など有志活動の際に名簿リスト、宛名シールを無料にて提供しております（個人情報保護方針に基づき、個人的な使用目的には対応しておりません）。なお、外部業者によって「多摩美術大学同窓会名鑑」などのタイトルで名簿が販売されることがありますが、校友会とは一切関係がありませんのでご注意ください。

大学セミナーハウス利用について

「富士山麓セミナーハウス（純林苑）」と「奈良古美術セミナーハウス（飛鳥寮）」は、卒業生とそのご家族のご利用が可能です。宿泊をご希望の方は、予約状況を確認いたしますので校友会事務局までご連絡ください。

※「富士山麓セミナーハウス（純林苑）」は、現在建て替え工事に伴い利用を中止しており、2016年4月より利用再開予定です。詳しくは大学ホームページの【セミナーハウス】をご覧ください。

校友会ホームページをご活用ください

卒業生の情報をお待ちしております！

●個人情報の変更

フォームに入力するだけで、個人情報の変更手続きができます。お引越しなどで住所が変更になった際は是非お知らせください。

●展覧会・イベント情報

校友会ホームページで、校友会会員（卒業生・教職員）、準会員（在学生）の展示・イベント情報等を掲載しています。フォームから皆様の展示情報をお知らせください。

●各種書類のダウンロード

「おとなの奨学金」「小品展」等の募集要項や各種書類もホームページからダウンロードすることができますので、ご利用ください。

●多摩美術大学校友会ホームページ

http://www.tamabi.ac.jp/alt

※ホームページをご覧になれない方
〈個人情報の変更〉〈展覧会・イベント情報〉は、ハガキ、電話、E メールでも受け付けております。

●退職された先生方

長い間本当にありがとうございました。五十嵐威暢第9代学長、佐藤晃一先生（GD）、須永剛司先生（情報）、田口敦子先生（GD）、寺内隆先生（PD）、富樫克彦先生（環境）、堀浩哉先生（油画）（50音順）

●訃報

三上晴子
情報デザイン学科メディア芸術コース教授
三上晴子教授が2015年1月2日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

木村一生
元グラフィックデザイン学科教授／元絵画学科油画専攻教授
名誉教授（2003-）
木村一生名誉教授が2015年9月15日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

●ご逝去された方々

謹んでご冥福をお祈りいたします
石田佳子（'71油画）
祁答院慶昭（'57油画）
串戸泰二郎（'63図平）
クリステンセン古澤典子（'65図立）
栗原宏（'46図案）
小口直人（'64図立）
下田喜一（'52油画）
田中秀治（'73写真）
田中陽子（'99ID）
田辺光彰（'61彫刻）
手島壮子（'77D）
豊田由紀子（'64演劇）
林浩一（'75PD）
彦坂玲子（'06工芸）
古木正和（'98日画）
古谷健介（'11院油）
本道守（'52油画）
山口由利香（'80ID）

2014年10月～2015年10月10日までにお知らせのあった方の掲載（敬称略・50音順）

多摩美術大学校友会会報
『アルティ』21号
編集・発行：多摩美術大学校友会
〒192-0394 東京都八王子市鑓水2-1723
多摩美術大学八王子キャンパス 共通教育センター棟
Tel:042-676-0802　E-mai:alt@tamabi.ac.jp
発行日：2015年11月
デザイン：A.U.D.R.・上田雄三
印刷：有限会社グラフィックケイ・エム・エー